

顎関節症のリハビリテーション

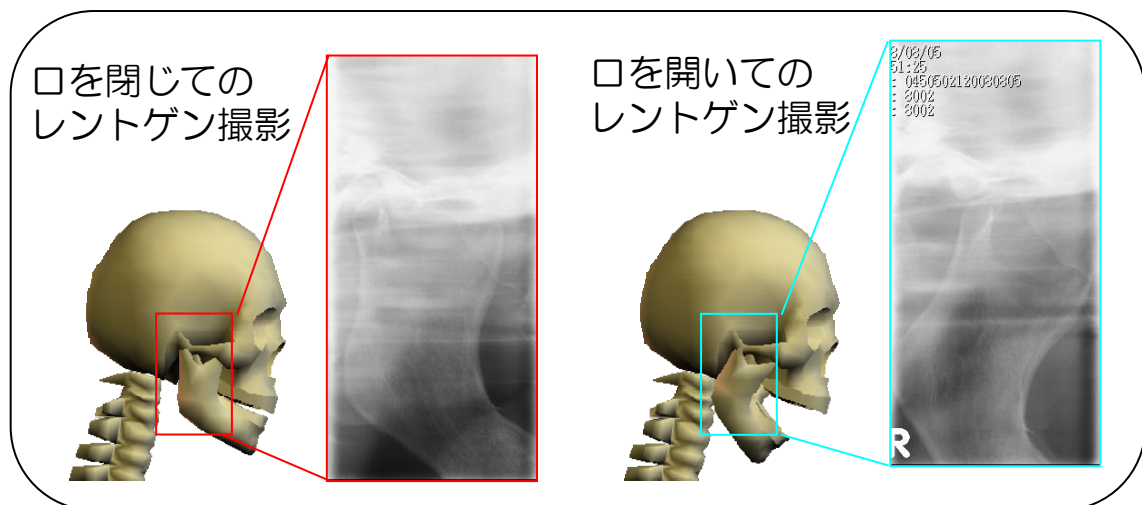
リハビリテーションだよりの5月号のテーマは、『顎関節症』です。

当センターでは、歯科口腔外科ならびに整形外科と連携し、顎関節症や顎関節症に起因する頭頸部・顔面領域の痛みに対して理学療法を実施しています。

今月号では、顎関節症や診療の流れについてご紹介します。

まず、顎関節症の症状は口(あご)を開いたり閉じたりする際のあごの痛みやクリック音です。時には頭痛が生じることもあります。

必要に応じて、下の図のようにあごの関節のレントゲン撮影やMRIなどの精密な検査を行うこともあります。



これらの検査により、顎関節症と診断され、下記の様に原因を特定し適切な治療へと進めます。

顎関節症の分類（日本顎関節学会）

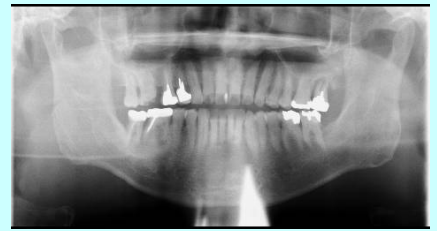
1. 顎関節症Ⅰ型：咀嚼筋障害
2. 顎関節症Ⅱ型：関節包・靭帯障害
3. 顎関節症Ⅲ型：関節円板障害
4. 顎関節症Ⅳ型：変形性関節症
5. 顎関節症Ⅴ型：Ⅰ～Ⅳに該当しないもの

当院の顎関節症診療の流れ

一般的には歯科のみで診療されることの多い顎関節症に対して、当院では歯科口腔外科、整形外科、リハビリテーションセンターの3つの部門が連携し、総合的に診療を行っています。

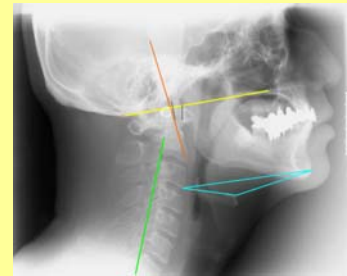
Step ① 歯科口腔外科

- ・ 歯・顎関節のレントゲン、MRI検査
- ・ マウスピース、低周波治療など
噛み合わせの問題による症状を改善します。



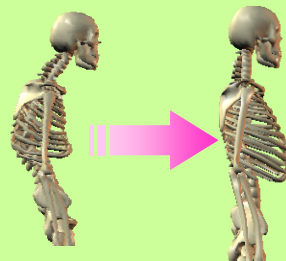
Step ② 整形外科

- ・ 頸椎のレントゲン撮影
- ・ リハビリ処方 など
主に頸椎からくる症状を診断します。



Step ③ リハビリテーション

- ・ 姿勢の評価と治療、日常生活指導
- ・ 筋肉・関節組織の評価と治療 など
歯科と整形外科の診断に基づき
痛みの軽減を図ります。



姿勢から
顎関節の
負担軽減を
図ります

この流れにより、安全かつ確実に顎関節症や顎関節症に起因する頭頸部・顔面領域の痛みの治療にあたっています。
お困りの際は、歯科口腔外科を受診ください。